公益社団法人日本フィランソロピー協会 特別セミナー

アジアの NGO リーダーから見た
日本企業の BOP ビジネス

―期待と提言― （日本語通訳つき）

Dr. Jaime Aristotle B. ALIP

（ハイメ・アリストトゥル・アリップ氏）

フィリピン最大級のマイクロファイナンス機関「CARD MRI」創設者／マネジング・ディレクター

Dr. Saing Koma YANG

（セン・コマ・ヤン氏）

カンボジアの国内情勢により
急遽、来日中止となりました。
（2013.08.05更新）

ア最大規模の農村開発NGO
「CEDAC」創設者・プレジデント

Ms. Prateep UNGSONGTHAM HATA

（プラティープ・ウンソンタム秦氏）

バンコク最大のスラムで活動するドゥアン・プラティープ財団創設者・事務局長

Ms. Estrella PENUNIA

（エステラ・ペヌニア氏）

アジア 10 ヵ国の農民ネットワーク「AFA」（本部フィリピン）事務局長、世界経済フォーラムのグローバル・アジェンダ委員会アドバイザー

今回は、特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21と協働し、アジアのマイクロファイナンスや農村開発などに先進的に取り組む NGO のリーダーをお招きした特別セミナーを開催します。アジア各国の現状を知り、これからのアジアでの BOP ビジネスのあり様、パートナーシップなどついて考えたいと思います。懇親会は、講師を含むアジアの NGO のリーダーを交えて、貴重な懇親の場となります。皆様のご参加をお待ちしております。

日　時：2013 年 8 月 6 日（火）　17:00～20:00

※終了後懇親会あり(希望者のみ)

会　場：味の素株式会社　本社 A 棟ビル

地下大会議室（東京都中央区京橋 1-15-1）

定　員：90 名　（下記のサイトから申込みください）

参加費：日本フィランソロピー協会会員 2,000 円

一般 3,000 円　学生 1,000 円

（懇親会は別途 3,000 円）

交通アクセス

・JR 東京駅
　八重洲中央口より
　徒歩 10 分
・東京メトロ銀座線
　京橋駅より
　徒歩 5 分

主催：公益社団法人日本フィランソロピー協会　特定非営利活動法人アジア・コミュニティ・センター21

協力：味の素株式会社

http://www.philanthropy.or.jp/seminar/201308/

公益社団法人日本フィランソロピー協会 特別セミナー

アジアの NGO リーダーから見た日本企業の BOP ビジネス ー期待と提言ー

日時：2013 年 8 月 6 日（火）17:00〜20:00　会場：味の素株式会社 本社地下大会議室（東京都中央区京橋 1-15-1）

講師プロフィール

フィリピン最大のマイクロファイナンス機関の創設者

Dr. Jaime Aristotle B. ALIP

（ハイメ・アリストトゥル・アリップ氏）

CARD MRI 創設者／マネジング・ディレクター(CARD Mutually Reinforcing Institutions)

CARD（Center for Agriculture and Rural Development）を 1986 年に NGO として立ち上げ、88 年に草の根金融サービスを開始。97 年には貧困層向け金融機関 CARD Bank を新たに設立。現在 9 機関と 1 グループからなる「CARD MRI」（カード相互補強機構）を構成。2013 年 3 月現在、グループ全体（CARD NGO、Bank を中心として）で年間 181.6 万人以上（主に女性）に少額融資を行い、返済率 99.25%。CARD MRI は「アジアのノーベル賞」と称されるラモン・マグサイサイ賞（公共サービス部門、08 年）を受賞した。

同氏はこのほか、政府農地改革省長官補佐、政府社会福祉・開発省事業担当次官を歴任し、現在オイコクレジット国際理事会理事、米国グラミン財団アドバイザー。ハーバード大学ビジネス・スクール修了（07 年）、東南アジア学際開発大学（SAID）で組織開発学博士号取得。

CARD ウェブサイト：http://cardbankph.com

カンボジア最大の農村開発 NGO の創設者・プレジデント

Dr. Saing Koma YANG（セン・コマ・ヤン氏）

CEDAC 創設者・プレジデント（Cambodian Center for Study and Development in Agriculture）

2012 年ラモン・マグサイサイ賞受賞。

CEDAC は、生態系に配慮した家族経営の農業の発展と相互扶助型農民組織化の促進を目的[illegible]。[illegible]ジア国内の 22 州の 131 郡[illegible]179 村の[illegible]世帯を対象に活動を展開し、その約半数にあたる 7 万 1,500 世帯が環境に配慮した農業革新技術を実践。

同氏はこのほか、2009 年に CEDAC が設立した社会的企業「SAHAKREAS CEDAC」会長、全国農民協会（FNN）アドバイザー、6 つの現地 NGO の理事や理事長を務める。Leipzig 大学（ドイツ）で農業博士号取得。

CEDAC ウェブサイト：http://www.cedac.org.kh

カンボジアの国内情勢により急遽、来日中止となりました。

バンコク最大のスラムで教育・福祉に取り組む活動家

Ms. Prateep UNGSONGTHAM HATA

（プラティープ・ウンソンタム秦氏）

ドゥアン・プラティープ財団 事務局長
（Duang Prateep Foundation）

クロントイ・スラム（バンコク）出身。貧困で学校に通えないスラムの子どものための「1 日 1 バーツ学校」の運営（1968 年〜75 年）等の功績が認められ、1978 年にラモン・マグサイサイ賞（公共サービス部門）を受賞。同年、賞の報奨金を基金としてドゥアン・プラティープ財団を創設、事務局長に就任し、現在に至る。

さらに、米国のロックフェラー基金より受賞した「青年賞」の報奨金を投じて「スラム・チャイルドケア財団」を設立（80 年）。2000 年には上院議員に選出され、2006 年まで国政において社会的弱者支援の政策づくりに取り組んだ。このほか、スラム地域開発委員会委員長を務める。スワンドゥシット教員養成短期大学（バンコク）で教育学の学位取得（86 年）

ドゥアン・プラティープ財団ウェブサイト：
http://www.dpf.or.th/jp/

アジアの農民組織ネットワークで農民の能力強化、自立支援に奔走

Ms. Estrella PENUNIA（エステラ・ペヌニア氏）

持続可能な農村開発のためのアジア農民連合（AFA）事務局長
（Asian Farmers' Association for Sustainable Rural Development）

AFA は、アジア地域の農村開発 NGO のネットワーク団体 AsiaDHRRA（アジア農村人材開発パートナーシップ）の 10 カ国 30 人の農民交流プログラムを通じ、アジアの農民が連携する必要性が認識されたことから、2002 年設立。AFA のメンバーは、10 カ国(日本、インドネシア、カンボジア、韓国、バングラデシュ、ネパール、フィリピン、タイ、台湾、ベトナム)の計 12 の農民組織で、その傘下には 1,100 万人の農民が参加。主に、政策提言、情報普及、ビジネス開発、ガバナンスに関するプログラムを実施するほか、メンバーである各国の農民組織向けに技術・運営面でのサポートを行う。

同氏は、アテネオ・デ・マニラ大学コミュニティ・サービス・センターでシニア・コーディネーター等（1982〜92 年）、PhilDHRRA 研修・コンサルタンシー部長（92〜93 年）、フィリピン農地改革キャンペーン・ネットワークのコーディネーター（99〜03 年）、AsiaDHRRA プログラム・オフィサー（03〜07 年）などを歴任し、農村開発や地域開発の分野に広い知見をもつ。

AFA ウェブサイト：http://asianfarmers.org/

お問合せ：公益社団法人日本フィランソロピー協会（担当：杉本）
電話：03-5205-7580　FAX：03-5205-7585　E メール　office.2011@philanthropy.or.jp

http://www.philanthropy.or.jp/seminar/201308/